

History of Titanium Series

チタンクッカーが産声を上げて今年で29年

今ではすっかり市場での認知を得たチタン製品およびチタンクッカーですが、発売当時からすぐに受け入れられたわけではありません。そんな当時の苦労話を少し。



「チタンクッカー」発売
(1995年)

1995

1995年：チタンクッカー誕生 驚愕の軽さ。展示会に来た小売店様が皆驚く。持たせるだけで軽さに感動するという、物凄いものを作ってしまった感を覚えています。

「フッ素コート」シリーズ発売
「0.3mm」シリーズ発売
(2000年)

2000

2000年：まだまだ普及途中。チタンという素材の特性をなかなか浸透させられず、アルミと比べて焦げる！調理しにくい！という声多数。当時は今よりも山で調理している人が多かった記憶が。これに応えるべく、現在のセラミックコートの前身であるフッ素コート（Fコート）を発売。チタンが焦げる問題に取り組む。しれっと、ノンコーティングの0.3mm厚のULシリーズを発売するも当時はそんなに受けなかった。やはりクッカー＝調理力の時代のせいかな。

「セラミックコート」シリーズ発売
(2005年)

2005

2005年：チタンFコートでも焦げ付き問題解決せず。また、Fコートの耐久性が弱くお叱りを多数いただいております。その声に応えるべく開発したのがセラミックコート。コーティングの耐久性、耐熱性が大幅に向上しました。



「チタン 400FD」発売
(2007年)

これを評価いただいたのが、米国バックパッカーズマガジンのエディターズチョイス受賞。ORショーで表彰された時の当時の常務の表情が忘れられません。出展していた日本、米国企業問わずおめでとうの言葉をいただきました。



「チタンマグポット」発売
「チタンアルコールストーブ」発売
(2010年)

2010

2010年：米国市場の強い要望によりチタン製のアルコールストーブを発売。市場に無いものを作りたい開発の執念で当時はアルコールストーブ＝火力が弱いというのをひっくり返そうということで高火力の「Tiアルコールストーブ」という唯一無二のものが生まれました。



「0.3mm」リニューアル
(2013年)

米国でULがいよいよ本格化してこようかという頃。この当時のORショーで開催したエバニューのパーティーには今のUL界のレジェンドたちが集まりました。

「ULTRALIGHT MOUNTAIN EQUIPMENT」
(2015年)

2015

2015年：徐々にULの波が日本にもやってきてセラミックとULの販売数が逆転するように。フリーズドライのフードも劇的に美味しくなってきたことと連動しているような。

「チタンカップ 570FD」発売
(2017年)

「TibiTibi」発売
(2018年)



2020

2021年：コロナウイルスによる自粛期間。おうちアウトドアを楽しむ方がアルコールストーブを使ってくれたことによりブチブームのような状態に。この年からエバニューはカタログをすべて内製化。思いのたけを語るようになりました。

「チタン」シリーズの見直し
(2022年)

2022年：チタン製品のパッケージデザイン、フタをレーザーロゴに変更。27年目にして大幅なロゴ変更をしました。平ナベ、深型、アルコールストーブ関連、山酒、等カテゴリーをさらに広げて提案を進め、より軽量コンパクトを目指します。



「Ti SOLO pot NH」発売
(2023年)

2024

ULTRALIGHT
MOUNTAIN
EQUIPMENT